

ニュースリリース

2013年2月18日

2013年2月18日より野村証券で募集開始



T&D保険グループのT&Dアセットマネジメント株式会社(東京都港区、代表取締役社長:藤瀬 宏)は、本年2月28日に「T&D米国株投信(北米通貨投資型)1302」を設定します。

〈ファンドの特色〉

- ① **米国の株価指数先物取引※1を主要取引対象とし、米国の新興株式市場全体のトレンドを概ね捉えるとともに、円建て資産に対して、原則として円売り北米通貨※2買いの為替取引を行うことで、北米通貨への投資効果の追求を目指して運用を行います。**

※1:当面は、主にNASDAQ-100指数を対象とした先物取引を利用する予定です。

※2:当ファンドにおいて北米通貨とは、米ドル、カナダドル、メキシコペソの概ね等分の組み合わせをいいます。

- 運用にあたっては、円建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に、コールローン等にも投資すると共に、米国の株価指数先物取引の買建てを行います。
 - 米国の株価指数先物取引の買建ての額は、原則として信託財産の純資産総額とほぼ同額程度となるように調整を行います。
- 円建て資産に対して、原則として円売り北米通貨買いの為替取引を行い、北米通貨への投資効果を追求します。
 - 北米通貨への投資にあたっては、各通貨の買い予約額が概ね等分となることを基本として運用を行います。
 - 為替取引を行うにあたっては、外国為替予約取引等を積極的に活用します。
 - 外国為替予約取引等の買い予約の合計額の信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として100%以内として、高位を維持することを基本とします。

- ② **基準価額(支払済みの分配金累計額は加算しません。)が一定水準(12,000円)※3以上となった場合には、短期有価証券、短期金融商品等の安定資産による安定運用に切り替え、信託約款の規定に基づき繰上償還※4を行います。**

※3:上記の一定水準(12,000円)は、安定運用に切り替えるための価額水準です。ファンドの基準価額が一定水準(12,000円)以上となることを示唆あるいは保証するものではありません。

※4:償還価額が一定水準(12,000円)以上であることを保証するものではありません。

- 市況動向等によっては安定運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

購入の申込期間： 2013年2月18日(月)～2013年2月27日(水)
設定日： 2013年2月28日(木)
取扱販売会社： 野村証券株式会社

お申込みメモ

購入時	購入単位	1口単位(当初元本 1口=1万円)
	購入価額	1口あたり1万円(購入時手数料が含まれます。)
	購入代金	平成25年2月27日までに販売会社にお支払いください。
	購入の申込期間	平成25年2月18日～平成25年2月27日
換金時	換金単位	1口単位
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
	換金制限	1日1件10億円を超える換金申込は行えません。
信託期間	平成30年3月16日まで(平成25年2月28日設定)	
決算日	毎年3月18日(休業日の場合は翌営業日) 初回決算日は平成26年3月18日です。	
収益分配	年1回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。	
申込不可日	下記の申込不可日のいずれかに該当する日には、換金のお申込みはできません。申込不可日につきましては、販売会社ないしは委託会社にお問い合わせください。 <申込不可日> ・ニューヨークの金融商品取引所またはニューヨークの銀行の休業日 ・シカゴの金融商品取引所の休業日 ・メキシコシティの銀行の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日	

ファンドの費用

● 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	1口につき、 315円(税抜300円) (購入価額に含まれており、信託設定日にファンドから販売会社に支払われます。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

● 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に 年1.1025%(税抜1.05%) の率を乗じて得た額とします。
その他の 費用・手数料	【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に 年0.00735%(税抜0.007%) の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。 【その他】 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管等に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

■ ファンドの投資リスクについて

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価格の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

株価変動リスク 為替変動リスク 債券価格変動リスク

※ 基準価格の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

※ 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

■ ご留意いただきたい事項

- 当資料は、ニュースリリースとしてT&Dアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に使用することはできません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願い致します。投資信託説明書(交付目論見書)は各販売会社にてご入手いただけます。

以上

※本件に関するお問い合わせ※

T&Dアセットマネジメント株式会社 投信営業部 天野・中井

電話03-3434-5544 <http://www.tdasset.co.jp/>